

(ま)なねごより

平成31年2月22日
大阪市立今川小学校
保健室

『はしか』『風しん』について知ろう！

ぜんこく かんせんしょうとうけい
全国の感染症統計より、『はしか』の患者数が
か こ ねん さいた じ
過去10年で最多のペースで増えており、報道など
そんじ とお おおさかしない
でご存知の通り大阪市内においても多数の患者数
かくにん
を確認しています。

『風しん』においては、過去10年余りの中
で昨年は2番目に患者数が多くなっています

『はしか』や『風しん』にかかるないためには
はしかと風しんの両方を予防するワクチンの
定期接種第1期（1歳児）と第2期（小学校

にゅうがくまえ かいせっしゅ たいせつ
入学前) の2回接種することが大切になります

『風しん』も『はしか』も、特異的な治療法はなく、対処療法が中心となります。予防には予防接種が有効で、1回の接種で約95%以上の人人がウイルスにたいする免疫を獲得し、2回の接種では免疫のつかなかった人の多くに免疫をつけることができ重症化を防ぐことにつながります。

ふう りょうほう よ ぼう かい う ひと
風しんとはしかの両方を予防できるワクチンを 1回も受けたことのない人

いし せつきよてき そうだん
は、かかりつけの医師に積極的にご相談ください。 かい また、2回ワクチン

せっしゅ ひと いし そうだん けんとう
接種ができない人は、かかりつけの医師に相談することをご検討ください

もし『はしか』『風しん』の疑いがある場合、学校は休み、感染力が非常に強い病気のため、医療機関へ連絡をしてからマスクをして受診するようにしましょう。

ふう 『風しん』って？

せんぶくきかん にち にち
〔潜伏期間〕 16日～18日

かんせん きかん ほっ まえ か かかる
〔感染しやすい期間〕 発しあがる前7日からでたあと7日間

- 次のような症状が見られたら、早めに受診を！
 - ・ 発熱の程度は一般に軽い
 - ・ 小さいピンク色の細かい発しんが、顔～頭～身体～手足と全身に広がり、約3日で消える
 - ・ 耳の後ろや首のリンパ節が腫れ、痛みがある



ふう しんだん ぱあい ほつ しょうしつ しゅっせきていし
『風しん』と診断された場合、発しんが消失するまで出席停止になります。

『はしか』って？

【潜伏期間】8日～12日
【主な合併症】中耳炎・肺炎・脳炎
【感染しやすい期間】発熱の1～2日前から発しがでた後4日間

大阪市こども青少年局の資料参照

★感染力が非常に強く、とても重い病気です。

- 次のような症状が見られたら、早めに受診を！
 - ・ 38℃以上の高熱、咳、鼻水、結膜充血、目やにができる
 - ・ 熱が一時下がる頃、コプリック斑と呼ばれる
小さい斑点が頬の内側にできる
 - ・ 再び熱が高くなり、耳後部～全身に赤みの強い
発しんが拡がる
 - ・ 熱が下がると発疹がでた順に色素沈着を残して
消えていく



『はしか』と診断された場合、解熱後3日を経過するまで出席停止となります。